

令和5年度 富岡並木地区センター事業計画書

富岡並木地区センター

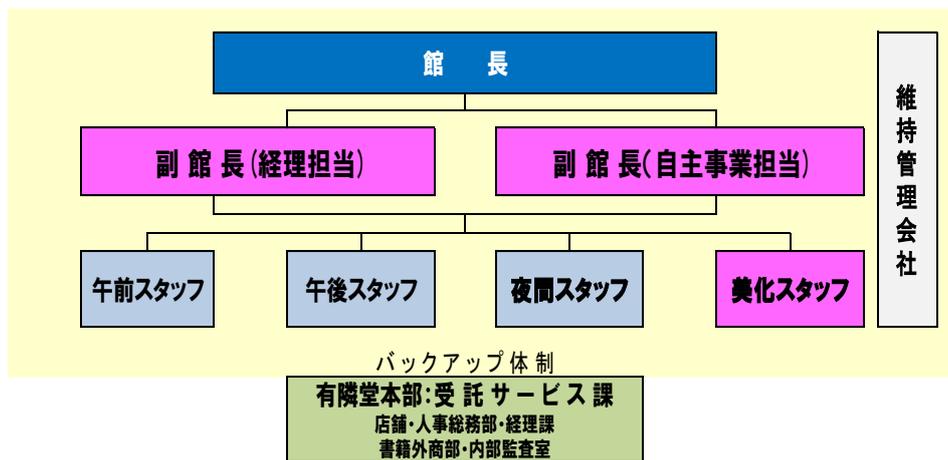
【1】管理運營業務の基本的な考え方

地区センターの設置目的 : 地域住民の自主活動や相互交流を深めること
金沢区区政運営の基本目標 : 『地域の皆さまと共に考える、挑戦する、つくる!』
富岡並木地区センターを、地域住民の自主活動を支援する「楽しみの場」「交流と学びの場」として運営してまいります。

富岡並木地区センターは、平成28年度より株式会社有隣堂が指定管理者として運営しております。弊社の経営方針のひとつには「文化、教育に関する商品の販売を通じて地域社会に貢献する」とあります。地域のコミュニティ醸成の場として、様々なイベントや自主企画事業を通じて地域に貢献していきます。有隣堂の書店運営の強みを活かして読書環境を整備して金沢区の読書活動を推進、地域のニーズに合った自主事業の企画・実施などの施策を通じて、地域の方の「楽しみの場」「交流と学びの場」として運営していきます。

「地域社会からさらに支持される地区センター」を目指して、隣接する聖星学園や地域のケアプラザ、地域の自治会と連携しながら地域の皆様の交流拠点の役割を担い地域とともに発展していきます。

【2】組織体制.



富岡並木地区センターは、館長1名、副館長2名の職員が3名の体制を執ります。副館長は自主事業及び広報を担当する自主事業担当と経理及び図書を担当をする経理担当の2名を配置します。

【3】 地区センター運営の取り組み

令和5年度は次のサービスに取り組みます。

1. 利用者ニーズの把握と利用者サービスの向上
利用者から寄せられた意見をセンターの運営に反映し利用者満足度を高めていきます。
2. 継続的な情報発信
新しい利用者呼び込むための施策としてホームページやツイッターを活用します。
3. 地域住民に喜ばれる自主事業の企画・実施
幅広い世代に向けて地域のニーズに合った講座を企画・開催します。
4. 図書コーナーの魅力向上
毎月20冊以上の新着図書を追加し幅広い世代に読書を楽しめる場所を提供します。
5. 公共施設として安心・安全な施設の提供
コロナ感染症防止対策に注力し安心・安全な施設を提供します。また、老朽化した設備の更新に努めます。災害発生時には来館者を安全に避難誘導できるよう訓練を行います。
6. 職員の育成
計画的に研修を実施し職員のスキルアップを図ります。

(1) 利用者ニーズの把握とサービス向上

利用者会議や利用者アンケートを実施して利用者の意見を募ります。また、窓口でいただいた意見やご意見箱投函の意見を職員会議等で検討して運営に反映させます。

(2) 継続的な情報発信

ホームページやツイッター、館内掲示、チラシ配布等の様々な方法を使って施設の最新情報や自主事業の募集などを都度発信して来館者を増やすよう努めます。

また「地区センターだより」を作成し、地域へ配布します。

(3) 地域住民に喜ばれる自主事業やイベントの実施

幅広い世代に参加していただける事業、地域の皆様に楽しんでいただける事業を引き続き企画します。また、コロナ過で実施を見送っていた各種の講座やイベントにつきましてもコロナ感染状況を見ながら再開に向けて検討してまいります。

(4) 図書コーナーの魅力度向上

幼児から高齢者までの幅広い世代が楽しめる本を取り揃えることにより図書コーナーを充実させてまいります。利用者が求めている本をリクエストできるボックスを常備します。図書貸出数は市内の地区センターの中でもトップクラスになるよう努めます。

(5) 公共施設としての安心・安全な施設の提供

年間の維持管理・保全計画を作成し実行することで安心・安全な施設の提供を行います。また、日々の見回りや毎月の定期点検により、施設を良好な状態に保ち、利用者に快適な空間を引き続き提供できるよう努めます。老朽化した設備は順次更新に努めます。全職員対象に災害時の避難訓練・AED 操作法の訓練を行い、災害発生時には来館者を安全に避難誘導できる体制をとります。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した後も引き続き感染防止対策に注力してまいります。

(6) 職員の育成

弊社が受託している6館の館長会及び副館長会を実施し各館の様々な問題に全員で取り組むことで課題解決の糸口を探るとともに情報を共有化します。自主担当の副館長会では人気の講座の紹介やアンケートの結果報告等を報告しあい、ニーズを分析して自主事業の立案に活かします。また、全職員対象に情報セキュリティ研修、コンプライアンス研修や、個人情報保護法に関する研修などを計画的に実施します。

令和5年度 「富岡並木地区センター」 収支予算書兼決算書(案)
(2023. 4. 1~2024. 3. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額(A), 補正額(B), 予算現額(C=A+B), 決算額(D), 差引(C-D), 説明. Rows include 指定管理料, 緊急雇用創出事業費, 利用料金収入, etc.

支出の部

Table with 6 columns: 科目, 当初予算額(A), 補正額(B), 当初予算額(A), 決算額(D), 差引(C-D), 説明. Rows include 人件費, 事務費, 事業費, 管理費, 公租公課, etc.

Summary table with 6 columns: 科目, 当初予算額(A), 補正額(B), 当初予算額(A), 決算額(D), 差引(C-D), 説明. Rows include 自主事業費収入, 管理許可・目的外使用許可収入, etc.

目標設定・自己評価合体版

令和5年度横浜市富岡並木地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者満足度の向上	1. 利用者ニーズの把握と利用者サービスの向上 ・ご意見箱の設置(通年) ・利用者アンケートの実施(10月) ・利用者からの声を地区センター運営に反映(通年)	実績:		
	2. 施設最新情報の継続的な発信(通年) ◆目標:月に4回(週1回のペース)の情報発信	実績:		
	3. 地域住民に喜ばれる自主事業の企画と実施(通年)	実績:		
	4. 図書コーナーの魅力向上(通年) ◆図書貸出冊数目標:令和4年度比105%	実績:		
公共施設として安全・安心な施設の提供	1. 施設及び備品の順次改修(通年) ◆老朽設備・備品を順次更新	実績:		
	2. 緊急時対応マニュアルの整備・全スタッフ共有(通年) ◆AED使用法や火災・津波発生時の対応訓練の実施	実績:		
	3. 個人情報保護の徹底(通年) ・全スタッフ対象に個人情報理解度テスト実施 ・地区センター保有の個人情報の棚卸・適切な廃棄 ◆目標:個人情報取扱に関する事故0件	実績:		
	4. 感染症対策の徹底(通年) ◆目標:新型コロナウイルス対策の徹底	実績:		
職員育成	1. 各種研修を通じて職員のスキルアップを図る(通年) ・館長会・副館長会の実施による情報共有と課題解決 ・コンプライアンス研修・情報セキュリティ研修の実施	実績:		
財務	1. 利用料金収入の増収 ◆利用料金収入 令和4年度比105%	実績:		
	2. 自主事業収入の増収 ◆利用料金収入 令和4年度比105%	実績:		

その他				
利用者等の意見				

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載